

保存版

令和5年3月

洪水（外水）による水害リスクを示した洪水ハザードマップとともに、内水氾濫による水害リスクを示した内水ハザードマップを作成しました。

調布市 洪水・内水 ハザードマップ

Chofu City Flood and Inland Water Hazard Map

風水害の被害を最小限にするためには、日頃からお住まいの地域の水害リスクを確認のうえ、日頃の備えや災害時の危険箇所、避難場所について正確な情報を知っていただくことが何より大切です。災害時は普段からの備えが重要となります。本マップを活用いただき、いざという時にあわてず行動できるよう、事前の準備をお願いします。

ハザードマップの使い方

1 自宅周辺の水害等のリスクを知る

2面のハザードマップの見方を参考に、地図面で自宅周辺の水害等のリスクを確認しましょう。



活用方法**1**から**3**に沿ってハザードマップを確認してみましょう。

1 各面の番号は右上にあります！

2 いつ・どんな行動をとるか考える

3面のフローチャートを使って避難場所や避難するタイミングを確認しましょう。また、自宅でする風水害時対策（5面）、情報の入手方法（6面）を確認しておきましょう。

7・8面では、気象情報や避難行動のタイミングや、情報の入手手段のタイミングについて、警戒レベルごとの（とるべき）行動が確認できます。



3 ハザードマップで確認した内容をもとに、風水害時のタイムラインを作成する

4面を使って自分だけのマイ・タイムライン（避難行動計画）を作成してみましょう。



2面はこちら

使用上の注意

雨の降り方は複雑であるため、想定とは異なる浸水深となったり、浸水が想定されていない区域でも浸水が発生する場合があります。